



豊かな明日に向かって技術と創造力を持ち続ける

FUJIMURA 株式会社 富士邑

受付
'18. 4. 10
キャリアセンター

D

企業理念

豊かな明日に向かって技術と想像力を持ち続ける会社

明るく夢と希望を持ち、ライフラインを守ることを誇りに安心を提供する企業

株式会社富士邑は、46歳になりました

昭和46年6月10日の創業以来、公共下水道工事・作業の専門業者として、長年事業に取り組み、現在では公共下水道メンテナンス工事を中心に、一般土木、舗装工事も合わせて行っています。



創業以来、目指してきたこと

昭和40年代後半に起こったオイルショックによる物価高騰…、昭和60年代後半から平成10年代にかけてのバブル景気の発生と崩壊…、また、「失われた20年」といわれる先の見えない長い不況も経験して参りましたが、幸いなことに公共工事の発注先や、多くの取引先及び商社・従業員・関係金融機関等に支えられて、今日を迎えることができました。創業以来、以下を目指してきました。



- 1 社会に貢献する企業を目指す
- 2 仕事を通して時間的にも経済的にも豊かな人生を送る
- 3 週40時間の労働時間を守り、有給休暇を100%消化する
- 4 発注者である公共機関より直接業務を受注する体制を中心に据える
- 5 技術者、現場従業員を直接雇用し、受注した工事は直営で完成させる

厳しい時代を生き抜くには大きなエネルギーは必要

当社は、24時間365日、発注者より要請を受けた工事・作業は100%受注させていただくことを目標にしています。受注後は短時間のうちに現場へ到着し、時間内に工事・作業を終了し、正確な成果品を速やかに提供する事を創業以来目標として来ました。自社機材、資材置場、直営作業員のための宿舎を完備することにより、このスピーディな対応が実現可能となっておりますが、まだ多くの解決しなければならない問題をかかえています。事故、苦情ゼロを目指し、今後も社員一同共に努力することを目標とし、優秀な技術者やそれを支える全従業員たちと共に、下水道メンテナンスを中心とした社会資本の整備に、今以上の誇りを持ち、改善し取り組んで参りたいと思います。

また、都民・発注者からどのようなご要望にもお応え出来、そしていかなる状況下でもしっかり明るく元気な気配りが出来る社員の養成に尽力して参ります。海外の優れた技術も積極的に取り入れるとともに、研鑽・探究の姿勢を忘れず、全社員一丸となって一層努力して参りますので、株式会社富士邑を取り巻く関係者の皆様には、今後ともご指導、ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

株式会社富士邑
清水 満

会社沿革

物価高騰、バブル景気の発生と崩壊、先の見えない長い不況を経験

多くの取引先商社・従業員・関係金融機関等に支えられました。

1971年(昭和46年)	総合建設業として創業
1973年(昭和49年)	東京都公共工事の入札に初参加
1975年(昭和50年)	下水道拡張工事及び、下水道メンテナンス工事業に参加
1975年(昭和50年)	関連会社(株式会社サンワード)を設立
1976年(昭和51年)	私道下水道助成工事の実績で都内一となる
1978年(昭和53年)	本社社屋完成
1985年(昭和60年)	公共下水道メンテナンス工事の専門会社に事業転換
1986年(昭和61年)	公共下水道工事並びに同メンテナンス工事の24時間緊急対応を開始
1994年(平成6年)	社員による海外視察研修(ドイツ・ベルリン・ミュンヘン等の下水道展)を開始
2005年(平成17年)	週40時間労働、有給消化100%を目標として掲げる
2005年(平成17年)	ドイツ(IBKイバック社)より最新の取付管用カメラ機材を導入
2006年(平成18年)	品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」の認証取得(登録範囲「上・下水道工事並びに同メンテナンス工事」)
2012年(平成24年)	中国・山東省済南市に現地法人(設計・積算業務)を設立
2014年(平成26年)	蓄電池による電力供給システム(静音システム)を導入
2015年(平成27年)	太陽光発電事業開始(山梨・東京・千葉・広島)
2015年(平成27年)	ベトナム・ダナン市に現地法人(設計・積算業務)を設立
2017年(平成29年)	ガードマン事業開始
2017年(平成29年)	社員寮(東京都世田谷区宇奈根 収容人員40名)を竣工

専門領域

経験と実績で培った下水道工事のノウハウ、常に最新の技術や機材を研究・追求しています。

公共下水道施設をあらゆる視点から、24時間サポート。
緊急時にも、速やかに対応しています。

富士県は、46年の経験と実績で培った下水道工事のノウハウと、国内・海外から採用した最新技術・機材を駆使して、主に3つの領域で公共下水道工事に携わっています。公共下水道施設ご担当者様からの多種多様なご要望に24時間、迅速にお応えしています。

事業領域

●補修工事

下水道管路施設の破損等の補修工事・下水道破損による陥没などの緊急対応を要する補修工事(24時間・365日)

●調査作業

下水道管路施設に起因する事故などの未然防止対策、異常の調査

●管路内清掃作業

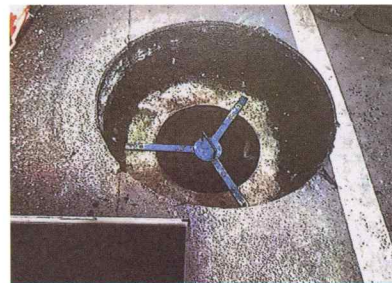
管路内に堆積した土砂、モルタルなどの除去作業



●補修工事

支障のある下水道施設の補修及び緊急を要する作業・工事に対応します。

信頼の技術で、確実な補修工事を遂行します。



マンホール上部補修(LB工法)

経年劣化により支障をきたしているマンホールの鉄枠・鉄蓋を、油圧機器を利用した円形せん断方式により、改修する工事です。LB工法は、静か・早い・コンパクトをコンセプトに補修を行っています。



開削工事

ガス・水道・電気・通信を確認しながら、安全・確実に掘削、下水道施設を補修します。



下水道管路更生工事

破損により陥没等を招く老朽化した下水道管を開削せずにロボットを使い、補修します。取付管の補修(SDライナー)および本管部分補修(ASS LH)に対応しています。

●調査作業

TVカメラを使用して下水道管路内の調査を行います。

最新技術を用いて、正確な調査を行います。

●管路内清掃作業

下水道施設の推積物(汚泥・モルタル)を除去し、下水道本来の機能を回復・維持させます。

充実の機材で、快適な生活環境を守ります。

●信頼の技術力

マンホール上部補修(LB工法)	騒音の元凶である舗装切断用カッターを使用しない、国内初の「円形せん断」によるマンホール蓋取り替え、工事。
SDライナー工法	本管・取付管及び本管と取付管の接合部を非開削で更生する工法です。
ASS-L・H工法	管路内に補修装置内を使用し可視光線硬化性樹脂を含浸した補修材による、損傷箇所を修繕する工法です。
バルテム工法	バルテムHL工法、ホースライニング工法、バルテムSZ工法、バルテム・フローリング工法が中心となり管路を更新する更生工法です。

●強化する新たな事業

ガードマン事業

2016年12月16日に警備業の認定(第30004194号)を受け、交通誘導警備を専門とした部門を開設。現場工事に必要な技術者、作業員、ガードマンを一括で揃え、休日や夜間の緊急工事に即時に対応出来る態勢を整えています。



太陽光発電事業

太陽光発電は太陽光を電気に変換するクリーンでエコな発電です。弊社では自社保有の太陽光発電設備有効活用し、年間発電量(kw)、CO2削減量(t)や環境保全に取り組んでいます。



●心がける低騒音

夜間工事の際、現場内を照らす投光器や安全な交通誘導を行うためのカラーコーンなどの照明のために電力が必要となります。この電力は通常発電機より供給されますが、発電機から発生する騒音を抑えるために、弊社では発電機を使わない蓄電池による電力供給システムを導入しています。このシステムの導入は業界初の試みです。

蓄電池とLED照明による「低騒音夜間工事システム」

仕様	回転灯 (サインライト)	サインライト内の 電球	サインライト内の 蛍光灯	蛍光灯の 安定器	内照保安の ライト1(30W)	内照保安の ライト2(28W)	スズラン灯	投光器 (ルクスSL70)	ディスクライナー G10SM5	電動ハンマ PH-65A	電動ランマ MTX-M55	合計
消費電力(W)	5	4.4	9.9	2.5	30	28	4.4	70	740	1240	1500	3634
数	2	6	8	8	1	1	50	3	1	1	1	
消費電力(W)	10	26.4	79.2	20	30	28	220	210	740	1240	1500	4104
時間(h)	9	9	9	9	9	9	9	9	0.5	0.5	0.5	
消費電力量(Wh)	90	238	713	180	270	252	1980	1890	370	620	750	7352

蓄電池No.	DG1000A-1号機	DG1000A-2号機	DG1000A-3号機	DG1000A-4号機
消費電力量(Wh)	1742	1980	1890	1740
電池容量(W)	2200	2200	2200	2200
インバーター(W)	1000	1000	1500	1500
放電率(W) ※9時間の作業で放電する割合	79%	90%	86%	79%
1時間当りの 消費電力量(W)	194	220	210	892
残り使用可能時間(分)	142	60	89	31
総消費電力量(Wh)	7352			

機材・設備

24時間365日、速やかに対応できるよう、必要資機材をすべて自社で取り揃えています。

富士邑は自社機材を100%完備



■ダンプトラック3t、清掃用特殊車両



■バックホウ



■ダンプトラック3t



■作業車3t



■清掃用高圧洗浄車、超高压洗浄車、揚泥車、給水車、汚泥運搬車



■吸引掘削機DINO2J(ドイツ、MTS社製)



■TVカメラ車、本管用カメラ、取付管用TVカメラ、モルタル除去ロボット、木根除去装置



■資材置場



■TVカメラ車内設備

従業員用社宅紹介

従業員がゆっくり過ごせるよう、新築した社宅を紹介します。



■外観



■個室(社員用)



■通路



■食堂



■シャワールーム



■お手洗い



■洗面台

品質への取り組み

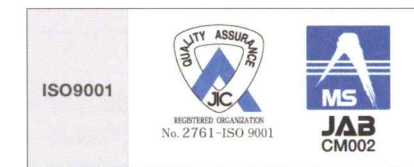
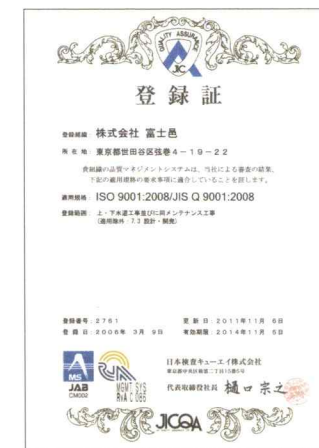
さらなる品質向上のためにISO9001認証を取得
環境保全にも厳しい姿勢で臨んでいます。

富士邑では、2006年3月、さらなる品質の向上を目指し、登録範囲を「上・下水道工事並びに同メンテナンス工事」と設定し、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」の認証を取得しております。

認証取得以降も品質マニュアルをもとに承認機関から定期的な審査を受け、「直営施工班体制を組織し、緊急工事への的確な対応力を確保している」と高い評価をいただいています。内部品質監査などを通じて、日々厳しい品質管理と確かなサービスが提供できるように運用しています。

品質管理の基本は、従業員の教育から

富士邑では、品質向上を目指しさまざまな従業員研修や技術力研究会などを推進するとともに、各種資格の取得も支援しています。また、安全管理室を中心に「安全大会」「安全パトロール」「資機材管理」などを定期的実施。従業員一人ひとりから「品質」「安全」をご提供できるように会社一丸となって取り組んでいます。



エコへの取り組み

省エネ・CO2排出量低減など、環境保全にも取り組んでいます

2008年(平成20年)7月の環境確保条例改正にない、エネルギー使用量や省エネルギー対策の実施状況などを記載した「地球温暖化対策報告書」を作成。2010年に東京都へ提出しました。電気自動車の積極導入とあわせて、二酸化炭素の排出量低減にも取り組み、環境保全への配慮を行っています。

安全教育

信頼の技術力を確かなものに高めるのは「人」の力
富士邑は下水道工事のプロとして日々研鑽しています。

事故と苦情を発生させないための安全教育

- 1 事故・苦情を未然に防止するため、全員で参加する「安全大会」
- 2 現場全体の安全意識・能力を高める「安全パトロール」
- 3 特性を熟知したうえで定期チェックする「資機材管理体制」



会社概要

会社名	株式会社富士邑 (カブシキガイシャフジムラ)
創立	1971年(昭和46年)6月10日
本社所在地	〒154-0016 東京都世田谷区弦巻4丁目19番22号 Tel: 03-3425-0171 / Fax: 03-3428-8246 総務・経理直通: 03-3425-0608 / 工事部直通: 03-3425-0456
資本金	3,000万円
従業員数	●技術系: 31名 ●1級土木施工管理技士: 11名 ●2級土木施工管理技士: 3名 ●下水道管理技術認定試験(管路施設): 23名 ●事務: 13名 ●営業: 2名 ●安全管理: 2名 ●現場作業員: 30名
営業概要	●一般土木工事・舗装工事 ●都市土木に関する新工法・機材の開発(ドイツ、スイス、イタリア各国のメーカーと提携) ●公共下水道工事(開削)並びに同メンテナンス工事(24時間緊急工事対応) ●公共下水道の管路内清掃及びTVカメラによる調査 ●人孔上部補修工事(LB工法、機械せん断工法) ●下水道管路更生工事(SDライナー工法、ASS-L・H工法、パルテムSZ工法、パルテム・フローリング工法) ●強力吸引掘削機(DINO2)による掘削工法
加盟団体	●下水道メンテナンス協同組合 ●SDライナー工法協会 ●パルテム技術協会 ●東京都管工事協同組合 ●LB工法協会 ●ASS工法協会 ●日本下水道管路管理業協会 ●東京都下水道工事専門家協会
取引銀行	●みずほ銀行 新宿中央支店 ●商工組合中央金庫 渋谷支店 ●日本政策金融公庫 新宿支店
関連会社	株式会社サンワード 〒105-0014 東京都港区芝2丁目30番11号芝コトブキビル Tel: 03-6809-3877 / Fax: 03-3706-8223

アクセス

所在地	〒154-0016 東京都世田谷区弦巻4丁目19番22号 東急田園都市線「桜新町駅」北口より徒歩10分
-----	--

24時間・365日

公共下水道のメンテナンス(維持管理)
工事・作業に100%対応しています。

FUJIMURA



株式会社 富士邑

